

新型コロナウイルス状況下の子どもの家庭学習における保護者への影響に関する 国際比較調査 2020 年度の結果報告の要約

調査の目的

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言に伴い、学校閉鎖された時期の保護者の子どもに対する家庭支援について明らかにすることである

調査の内容

- 家庭の電子機器の数や保護者の電子機器を使用する自信度
- 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下における保護者の子どもの家庭学習支援
- 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下における保護者の子どもとの家庭での過ごし方

調査の概要

1. 調査のテーマ 新型コロナウイルス状況下の子どもの家庭学習における保護者への影響の実態
2. 調査方法 インターネットによる自記式質問紙調査
3. 調査時期 2020 年 5 月～7 月
4. 調査国 23 カ国
 - ◇ アジア地域： 日本、中国、インド、スリランカ、パキスタン、トルコ
 - ◇ 北アメリカ地域： アメリカ合衆国、メキシコ
 - ◇ 中南米地域： エルサルバドル、コスタリカ、ホンジュラス
 - ◇ 南アメリカ地域： ウルグアイ、コロンビア、チリ、ペルー
 - ◇ ヨーロッパ地域： イギリス、イタリア、ベルギー、スペイン
 - ◇ アフリカ地域： エチオピア、カメルーン、ガーナ、タンザニア
5. 調査対象 6～16 歳の子どもの保護者 4,568 名

国	対象者数	国	対象者数
ベルギー	5	日本	159
カメルーン	10	メキシコ	244
チリ	1,597	パキスタン	45
チリ	217	ペルー	15
コロンビア	94	スペイン	28
コスタリカ	155	スリランカ	199
エルサルバドル	83	タンザニア	58
エチオピア	171	トルコ	78
ガーナ	142	イギリス	191
ホンジュラス	246	アメリカ合衆国	289
インド	54	ウルグアイ	61
イタリア	517	合計	4,658

結果報告

I. 日本の状況

1. 電子機器の所有数は、学校段階が上がるにつれて、スマートフォンやタブレット・iPad の所有数は多くなるが、学校段階によって、ノートパソコンやデスクトップパソコンの所有数は変わらない。
2. 電子機器の所有数は、社会経済的地位が高いほど、スマートフォン、タブレット・iPad やノートパソコンの所有数は多くなる。
3. 子ども 1 人あたりのパソコンの台数は、学校段階によって変わらなく、親子で 1 台が 5 割以上である。
4. 子ども 1 人あたりのパソコンの台数は、社会経済的地位が高いほど、子ども 1 人につき 1 台が多くなる。
5. 学校からの家庭学習の連絡は、どの学校段階においてもほとんどあり、1 週間に 1 回以上の連絡が 5 割以上である。
6. 子どもの家庭学習支援の頻度は、どの学校段階においても半数以上の保護者が子どもに勉強を教えしており、特に小 1～3 生を持つ保護者は多く、9 割以上子どもに勉強を教えている。
7. 保護者が家庭で子どもに勉強を教えている時間は、どの学校段階においても 1 週間に 10 時間以下が多い。
8. 家庭で子どもに勉強を教えている割合や時間は、保護者の性別や社会経済的地位によって、それほど変わらない。
9. 子どもの家庭学習に関連した支援活動の中で良く行われたことは、「学校の Email、ブログ、ホームページをチェックする」、「子どもと一緒に家庭学習の時間割を決める」、「料理、木工、オンラインゲーム、運動などを行っている」である。
10. 子どもと家庭で行った活動の中で良く行われたことは、「オンライン図書館にアクセスした」、「オンライン博物館にアクセスした」、「インターネットを利用して家族や友人に連絡した」である。
11. 保護者の電子機器を使いこなす自信度は高い。

II. 他国と比較して

1. 日本の1家庭あたりの電子機器の所有数は、他国と比べてそれほど多くない。
2. 日本の子ども 1 人あたりのパソコンの台数は、他国と比べて少ない。
3. 日本の学校からの家庭学習の受け取っている割合は高いが、その頻度は少ない。
4. 日本の保護者が家庭で子どもに勉強を教えている割合は、調査国の中で一番低く、その時間も調査国の中で一番少ない。
5. 保護者の子どもの家庭学習に関連した支援活動は、他国と比較してそれほど変わらないほど行われている。
6. 日本の保護者の子どもと家庭で行った活動は、他国と比べてインターネットの活用が多いが、その他の活動は少ない。
7. 日本の保護者の電子機器の使いこなす自信度は、他国と比べて高い。